

## 第57回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：平成29年3月10日（金） 10:00-11:00

2. 場所：内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

葛西委員長、松井委員長代理、青木委員、遠藤委員、後藤委員、中須賀委員、山川委員、山崎委員

(2) 政府側

宇宙開発戦略推進事務局 高田事務局長、佐伯審議官、佐藤参事官、高見参事官、松井参事官、行松参事官

4. 議事要旨

(1) 各部会・小委での検討状況について

① 宇宙システム全体の機能保証 (Mission Assurance) 強化について

宇宙開発戦略推進事務局より、資料1-1、1-2について説明を行った。本内容については、宇宙政策委員会としても了承した。委員からは以下の様な意見があった。

- これまでの抗たん性よりも幅広く、事案発生前の対策や事案発生後の対策まで含めた概念として、機能保証 (Mission Assurance) を定義することとした。今後、この考え方の理解促進・普及に努めていきたい。
- まずはシステムの脆弱性等を評価する指標を定めるべく、米国の取り組みを調査しているが、これに基づき日本にあった指標を作り、今後の取り組みをより明確にしていきたい。

② 宇宙利用産業の振興について

宇宙開発戦略推進事務局より、資料2について説明を行った。委員からは以下の様な意見があった。

- 民間を活用した宇宙開発には、技術的な支援が重要であり、JAXA がどういった役割を果たすかを考えるべきである。
- 日本として、技術開発の拠点をどこに置くかが大事であり、JAXA にも一定額の余裕を与えて新しいチャレンジを行わせるべきである。加えて、大学などもプレイヤーの1つとして個々の技術開発の拠点となることが期待される。
- 政府予算に頼らない成長の仕組みも大事であり、宇宙ベンチャーに投資するベンチャー・キャピタルの動向をしっかりと把握し、その啓発につとめるべき。

(2) 人工衛星等の打上げ及び人工衛星の管理に関する法律の施行に向けて

宇宙開発戦略推進事務局より、資料3-1、3-2に基づき、宇宙活動法施行のために、新たに「宇宙活動法技術基準検討小委員会」を設置することについて、説明を行った。宇宙法制小委員会を廃止した上で、新たに宇宙活動法技術基準検討小委員会を設置することについて、宇宙政策委員会として了承した。

(3) 宇宙基本計画の工程表改訂に向けて

宇宙開発戦略推進事務局より、資料4に基づき、年末までに行う宇宙基本計画の次期改訂に向けて説明した。委員からは以下の様な意見があった。

- リモートセンシング衛星に関する、衛星の利用から開発のスペックまで長期的に考えていく戦略が必要である。
- 調査分析・戦略立案を継続的に行う仕組みの構築が重要である。

以上